

松ぼっくりのツリー作り

12月12日（水）酒田市宮海の西荒瀬保育園児を対象とした「松ぼっくりのツリー作り」による森林環境教育を実施しました。

「ツリー作り」には年長組園児31名、保育園先生5名、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター4名、総勢40名で行いました。

酒田地域は強風と時より雪が舞う、12月上旬としては寒い日となりましたが、寒さに負けないように元気を出してクリスマスツリー作りに望みました。

ツリーは、センター職員が国有林の保育作業終了箇所等から拾ってきたものを使用し、ツリーの枝葉にドイツトウヒの実を、ツリーの幹にオオバクロモジの枝を、ツリーの土台にホウノキの幹を使い、園児のために精根込めてツリーを作りました。さらに、ツリーの枝葉を緑色に梢を白色にしてホワイトクリスマスの雰囲気を出し、また、雪の梢にキラキラする星をのせてみました。

当センター職員からツリーの飾り付けのポイントについて説明をした後、園児の皆さんは、自分に合ったツリーを選んでから、木工ボンドでお星様、ビース、モールなどの飾り付けを行いました。しかし、飾りものがなかなか直ぐにくっついてくれません。そんな時は、当センター職員の出番でプラガンを使って接着する手伝いを行いました。園児の皆さんも先生も当センター職員も懸命に飾り付けを行った結果、予定の時間はあっという間にきて、園児の皆さん、一人ひとりの個性溢れるツリーが出来上がりました。

最後に、園児達は作業班ごとに、自分だけのツリーを胸の前に持ち、ツリー作りの感想を発表してもらい、「超楽しかった」「キラキラするツリーが出来ました」など多くの声を聞くことができました。

24日、25日のクリスマスの日には、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんとここで作ったツリーも飾って楽しんでほしいと思います。

なお、保育園の先生方は、14日開催される「クロマツシンポジウム」で西荒瀬保育園が取組んでいる「しんちゃんの森での森林環境教育」について発表されるとのこと。酒田市民の方を始め広くこの活動が理解され、浸透していくことを期待します。

